



# あなたとわたし

男女共同参画  
情報誌

vol.21

発行: 福生市生活環境部  
協働推進課

性別や年齢の違いを超えて平等にともに手を携える関係でありたいから



## いろいろな活動に参加、奉仕 できる感謝と喜び

東京福生ファイオネスクラブ前会長  
大野澄子さん



ライオネスクラブでは、どのような活動  
されているのでしょうか？

7月が年度変わりですので、会長も交代し、8月福生七夕まつりでの焼鳥屋をチャリティーで出店することから始まります。

昨年度は売上金を、成長に伴って不用になった子どもの車椅子を外国へ送る支援をしているボランティアの方に寄付しました。車椅子を送るには、修理や清掃をしたり、梱包したり、いろいろと大変ですが、手助けになればと寄付しました。

わたしたちの活動が、そうした目的に活かされたと思うと、やはり例年以上にチャリティーをして良かったと思います。張り合いがあります。

冬は奥多摩にある「社会福祉法人ふるさと福祉会 東京多摩学園」で行われる椎茸のこま打ちの手伝いに毎年行きます。後援会にも入っており、何らかの役に立てればと思っています。また、5月末に駒澤オリンピック競技場で行われる障害者の大会を支援しながら、手伝いに行っています。そのほか、献血など年間スケジュールは、おおよそ決まっています。



東京多摩学園での椎茸のこま打ち作業

福生七夕まつりでの焼鳥屋

このような活動をお始めになった  
きっかけや経緯をお聞かせ下さい

以前は、夫がライオンズクラブに入ると、妻の参加も義務付けられていましたが今はそういうことはありません。そこで知り合った女性同士で何か地元へ奉仕ができないかと、お金ではなく、手作業で、活動してきました。

今年は、女性ばかりではなく、ライオンズクラブの男性も誘って、2月、東京多摩学園での椎茸のこま打ち作業を、男女一緒に行ってきました。

ライオネスの活動を通してご自分が変わった  
ことはありますか？

年を重ねるに連れて、何かをくやってあげる>という意識ではなく、自分がこうした活動に参加させて頂ける感謝の方が大きくなりました。こうした活動の意味の深さを知るほど、参加できる喜びは、他には代えられないものです。

それと、ライオンズクラブを通してではありませんが、福生吹奏楽団の立ち上げに関わり、後援会にも入っています。楽団員の方々が上達した上に、皆さんに喜んでもらえること、これもまた、わたしたちの喜びです。

(お話をうかがって)

筋り立てることなく気さくな方でした。時間に余裕のある今だから、できるとのことでしたが、果たして時間に余裕があっても、ここまでのボランティアは、そう簡単にできるものではないと思いました。事前からの準備も含め肉体的労働あり、神経も使い、大変なのに疲れを感じさせず、むしろハツラツとされていて、まさに「輝いている人」でした。

東京福生ファイオネスクラブとは、東京福生ライオンズクラブとともに女性会員が国際社会、地域社会に対して様々な奉仕活動をすることを目的としているクラブです。